

第8回

日本がん分子標的治療学会

トランスレーショナル リサーチワークショップ

キナーゼ阻害薬による がん治療の革新

学会理事長
宮園 浩平

実行委員長
間野 博行

実行委員
矢野 聖二・藤田 直也
光富 徹哉・橋本 順一
赤羽 浩一・上仲 俊光

日時 2013年1月22日(火) 9:00-17:05

URL <http://jamttc.umin.jp/tr8/> 事前登録制。参加申込みはウェブサイトから

会場 都市センターホテル コスモスホール I 東京都千代田区

参加費
本学会会員
1,000円
非会員
3,000円

9:00-9:10 開会の辞 間野 博行 (自治医科大学・東京大学)

9:10-12:05 ワークショップ 1 EML4-ALKの発見と臨床応用

座長：光富 徹哉 (近畿大学)
間野 博行 (自治医科大学・東京大学)

- 1 ALK肺がんの発見から治療まで
- 2 ALK肺がんの診断：診断アルゴリズムと肺癌学会指針
- 3 ALK肺がんの診断：臨床ネットワークの立場から
- 4 ALK肺がんの診断：診断サービスの立場から
- 5 ALK肺がんの治療戦略
- 6 クリゾチニブの臨床開発・日米同時申請
- 7 ALK肺がんにおけるクリゾチニブ耐性機構

曾田 学 (自治医科大学)
谷田部 恭 (愛知県がんセンター)
萩原 弘一 (埼玉医科大学)
名取 恒夫 ((株)エスアールエル)
岡本 勇 (近畿大学)
橋上 聖 (ファイザー(株))
片山 量平 (がん研)

12:05-13:00 ランcheonセミナー：ファイザー株式会社

座長：萩原 弘一 (埼玉医科大学)

非小細胞肺癌の薬物療法におけるクリゾチニブ位置付けと使用経験

西尾 誠人 (がん研)

13:00-15:05 ワークショップ 2 新規治療標的

座長：矢野 聖二 (金沢大学)
赤羽 浩一 (第一三共(株))

- 1 KRASおよびBRAF変異腫瘍に対する治療戦略
- 2 ATP 非拮抗型 Akt 阻害剤の研究開発
- 3 GISTの遺伝子変異と標的治療
- 4 変異型キナーゼの発見と診断
- 5 リネジ生存がん遺伝子TTF-1が伝える肺腺癌の生存及び負のシグナル

衣斐 寛倫 (金沢大学)
礪山 毅 (第一三共(株))
西田 俊朗 (大阪警察病院)
竹内 賢吾 (がん研)
高橋 隆 (名古屋大学)

15:15-16:55 ワークショップ 3 薬剤耐性の克服

座長：藤田 直也 (がん研)
上仲 俊光 (エーザイ(株))

- 1 サイトカインによる分子標的薬耐性とその克服
- 2 HER2抗体治療の進歩
- 3 大腸がんにおけるキナーゼ阻害療法と薬剤耐性
- 4 BRAF阻害剤を用いた臨床研究

矢野 聖二 (金沢大学)
戸井 雅和 (京都大学)
石岡 千加史 (東北大学)
Florin Sirzen (Hoffmann-La Roche Inc.)

16:55-17:05 閉会の辞 宮園 浩平 (東京大学・学会理事長)

ワークショップ事務局

東京大学大学院医学系研究科 ゲノム医学講座
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 TEL:03-5841-0633
E-mail: genome@m.u-tokyo.ac.jp

学会事務局

〒135-8550 東京都江東区有明3-8-31 (公財)がん研究会がん化学療法センター内
TEL:03-3520-0111 (内線:5413) FAX:03-3570-0484
E-mail:jamttc@jfc.or.jp